

# 令和4年度 学校評価について

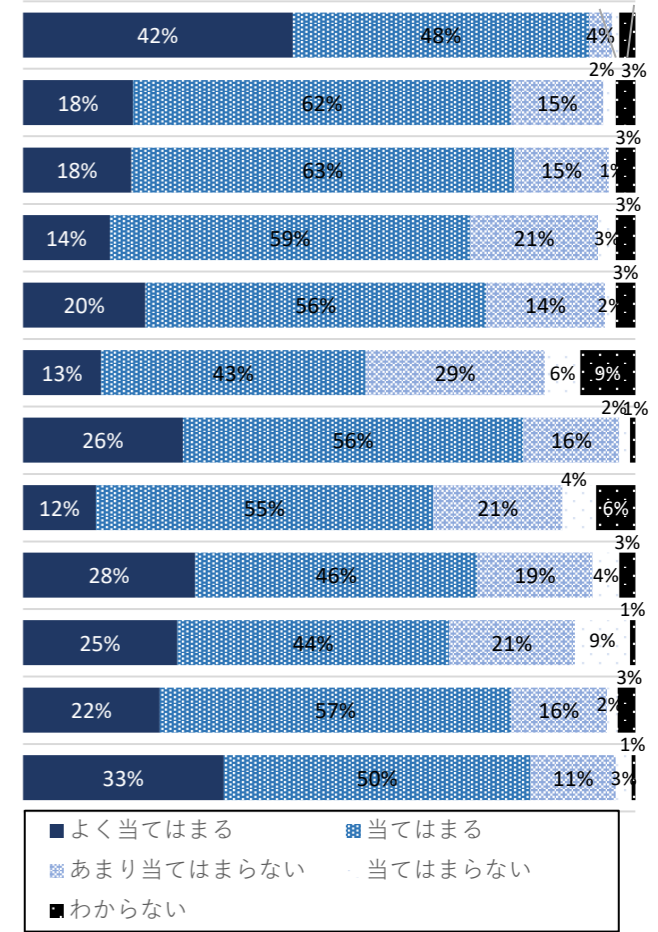
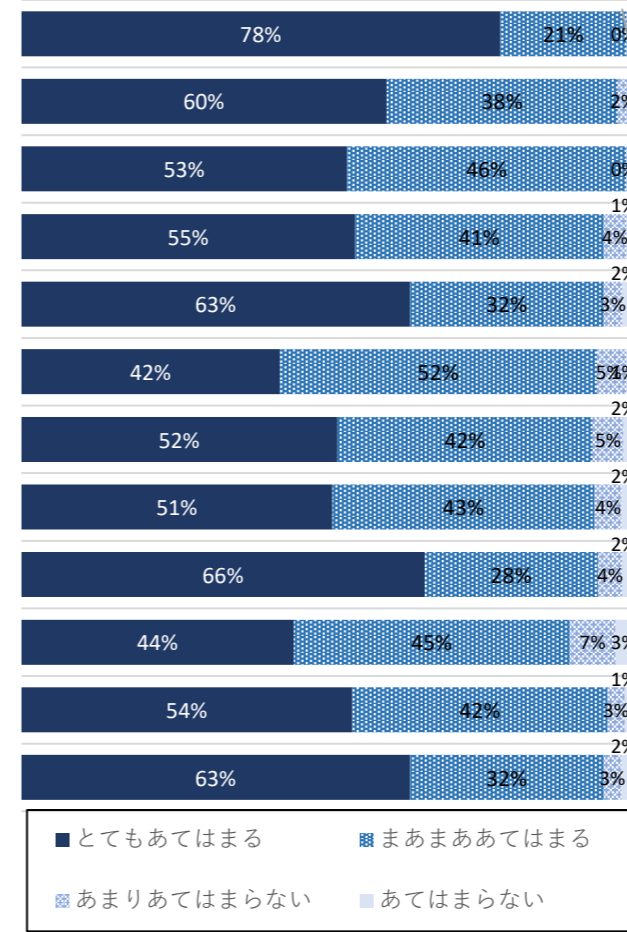
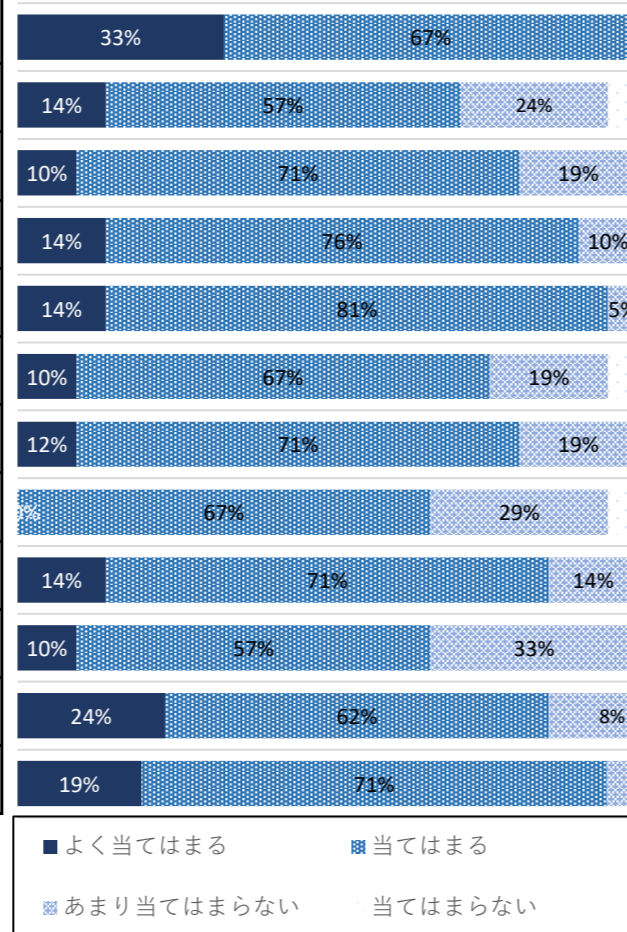
狛江市立狛江第五小学校

## 教職員用

## 児童用

## 保護者用

1	友達に声をかけ、仲良くしている。
2	挨拶・返事・後始末を進んでしている。
3	自分でやるべき事がきちんとできる。
4	言葉遣いに気をつけている。
5	楽しく学習に取り組んでいる。
6	自ら課題を見つけ解決している。
7	思いや気持ちを自分の言葉で表現している。
8	よく考えてから発言している。
9	健康に気をつけながら進んで運動に取り組んでいる。
10	栄養に関心をもち好き嫌いなくなんでも食べている。
11	途中で投げ出さず、最後までやり抜いている。
12	家庭学習に継続的に取り組んでいる。



**【自己評価結果】**  
**(成果)**  
 ○教師  
 ・ 1：児童との意見がほぼ同様の数値になっている。普段からしっかりと見とることができている。  
 ・ 4：言葉遣いに関する昨年度からの継続的な指導が見て取れる。  
 ・ 10：昨年度の結果を受け、食育に関する指導を栄養士と連携している。  
 ○児童  
 ・ おおむね評価は高い。  
 ・ 2：昨年度に比べると児童の中で挨拶・返事・後始末の習慣が広まったと考えられる。

**(課題と考察)**  
 教師：8に関して「よく当てはまる」の項目がない。児童が考えてから発言できるような時間の確保が必要である。  
 2・3：昨年度からの指導で少しずつ改善が見られるが、継続して、朝の挨拶や点呼などやるべきことを最後までやらせるなどの指導を徹底していく。  
 5：児童は楽しく取り組んでいるようだが、保護者のネガティブ項目も他に比べると多い。児童だけでなく、HPなどを使って楽しく学習している姿を発信していく。  
 6：教師、児童、保護者、3者すべてのポジティブ項目が低い。課題解決型学習に取り組み、成果を保護者へ発信していく。  
 8：教師、保護者と児童の間で認識の差がある。教師や保護者が求めていることを明確にして、児童に普段から伝えていく。  
 10：栄養士と連携し、食育の指導を継続していく。